

市政に対する

一般質問

今定例会では、9人の議員が8月28日、29日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

芦葉弘志議員

- 子育て支援に関わる、幸手市の施策について
- 不登校対策および学びの保障について
- 熱中症対策について

坂本達夫議員

- 幸手駅に設置した駅ピアノについて
- 幸手市の温室効果ガス削減対策について
- 令和4年度 幸手市のふるさと納税について
- 中5丁目小公園付近の浸水対策について

宮澤大地議員

- 幸手市在住の若者夫婦世帯に対する住宅取得補助金について
- 「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」について

高野優一議員

- 企業誘致について
- 幸手市ハッピー・スマイ（米）ル推進事業について

大平泰二議員

- 市内循環バスについて
- 安心安全な水道水について
- 市内公共施設の老朽化対策

- 治水対策
- ゴミ処理施設と最終処分場
- 神扇地区環境問題

小林英雄議員

- 交通安全対策について
- 区長の選挙活動について

本田謡子議員

- 幸手の小中学校について
- 今後の公共施設について
- 防災について

小泉圭司議員

- 幸手市の公共交通の確保について
- 市内のお風呂事情について
- 施設の再利用または利活用について
- 地域の居場所づくりについて
- マイナンバーカードの取り扱いについて
- 市民協働について

四本奈緒美議員

- 学校図書館の充実と子どもの読書活動の推進について
- 離婚後の子どもの支援について
- ドライブレコーダーを活用したまちの見守り活動について

9月定例会

傍聴者		
75人の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数		
7月 482件	8月 1457件	9月 1226件
の方が視聴されました。		

8月25日(本会議) ・開会・開議・議事日程の報告 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定・報告事項 ・市長提出議案一括上程、提案理由説明 8月28日・29日(本会議) ・開議・議事日程の報告 ・市政に対する一般質問 9月5日(本会議) ・開議・議事日程の報告 ・議案に対する質疑 ・議案の委員会付託 9月6日(委員会) ・文教厚生常任委員会 9月8日(委員会) ・総務常任委員会 9月12日(委員会) ・建設経済常任委員会 9月22日(本会議) ・開議・議事日程の報告 ・委員長報告、質疑、討論、採決 ・閉会	9月定例会 会期日程
---	-------------------

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

熱中症対策



芦葉弘志議員

Q

近年体力をうばわれる災害級の暑さになっていて、屋外では38度、屋内の場所によっては40度を越えている。

①熱中症対策について、市として対策について伺う。②高齢者世帯等のエアコン整備や点検を促す取り組みを伺う。③小中学校の体育館の熱中症対策として、エアコン設置について市として

A

の考えを伺う。④小中学校の体育館は、災害時の防災拠点となると思うが、8月のような外気温が38度の場合エアコン設置が必須だと考えるが、市としての考えを伺う。

分補給やエアコン使用を促しているが、今後は整備や点検も促したい。
小中学校体育館へのエアコンの必要性については認識しており、早期に設置できるよう計画的に進める。災害時防災上の観点からもエアコン整備は理想的であるが、その電源の確保など検討する必要がある。

(健康福祉部長・教育部長・

市民生活部長)

駅ピアノを常設に



坂本達夫議員

Q

駅ピアノは、これまで「桜まつり」など、「あじさいまつり」など、イベント開催のときに、幸手駅に設置されてきた。

しかし、駅ピアノは、幸手に住み、幸手に毎日暮らす市民のために設置するのが、本来の姿ではないか。

それであれば、駅ピアノは、

A

駅ピアノ設置について、これまで、桜まつり、あじさいまつり開催時に設置したが、

駅ピアノは、これまで「桜まつり」、「あじさいまつり」など、イベント開催のときに、幸手駅に設置されてきた。しかし、駅ピアノは、幸手に住み、幸手に毎日暮らす市民のために設置するのが、本来の姿ではないか。

これまで、桜まつり、あじさいまつり開催時に設置したが、

改めて、9月の曼珠沙華まつりに合わせて設置し、多くの方に楽しんでいただきたい。今後、気候等を考慮し、常設の方向で考えていく。

(市長)



空家等対策の推進に関する改正法への対応



宮澤大地議員

Q 本年6月に「所有者の責務強化」「空家等の活用拡大」「空家等の管理の確保」「特定空家等の除去等」に取り組むための、「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が成立・公布されました。

増え続ける空家。居住目的のない空家（いわゆる

る特定空家等）に対する市町村の権限が一步拡大されることとなる改正法に対し、幸手市はどのような計画があるのか伺う。

A 現在、幸手市空き家等の適正管理に関する条例

および同条例施行規則に基づき、空き家所有者に対し、適正な管理のために必要な助言等をしている。

このたび、法改正に伴い、空き家所有者の責務の強化や、空き

家の除却等に対する市の権限の強化がなされることとなる。

このため、市では、改正後の空家等対策の推進に関する特別措置法第7条に基づく「空家等対策計画」の策定に向け検討を行っている。

（市民生活部長）



企業誘致について



高野優一議員

Q 企業を誘致することで雇用の拡大、税収の確保

など、自治体にとって企業誘致にはさまざまなメリットがあり、人口動態にも好影響を与えるものと考えます。

そこで幸手中央地区工業団地誘致後の効果・課題について伺う。

また戸島地区における新たな

A 幸手中央地区産業団地誘致後の効果は雇用の創

出や市税の増収による安定した歳入が見込まれるようになったこと、課題は新たに幸手市に立地を求めている企業ニーズに対応できないことが挙げられます。

そのような中で、現在、新たな企業誘致先として、幸手中央地区に隣接する神扇地区の産業

団地整備を推進しています。

また、戸島地区の進捗は、権利者の民間企業が業務を委託し、今年度は土地利用計画を作成中であると伺っています。

（市長・建設経済部長・総務部長）



神扇地区環境問題



大平泰二議員

Q

神扇地区のゴミ屋敷問題で今年度新たに搬出されたゴミの量、およびその防虫対策について伺う。また、古材の山を撤去する対策について、古材は産業廃棄物で県の管轄に位置付けられる。排出業者が違反した場合その責任として5年以下の懲役、1千万円以下の罰金となる。また、法人において

A

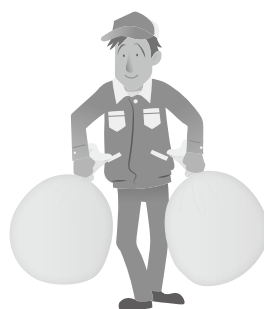
今年度4月以降にゴミは搬出されていない。面談により、行為者が9月からゴミ搬出費用を工面することとなっている。一度の搬出は少量となるが、定期的にごみの搬出ができるよう指導していく。防虫対策として、行為者および環境課職員が、枝木の伐採お

は3億円以下の罰金となる。排出業者との協議の経過について伺う。

よび除草剤の散布をした。

敷地南側の山となっている場所は、既に排出業者が倒産しているとの記録があり、今後埼玉県と連携の上、対応方法の検討をしていきたいと考えている。

(市民生活部長)



信号機のない横断歩道、歩行者の安全対策は



小林英雄議員

Q

横断歩道で、歩行者が犠牲となる交通事故が後を絶たない。横断歩道は歩行者優先であり、運転者には、横断歩道手前での減速義務や停止義務がある。埼玉県の横断歩道における、歩行者待機時の一時停止率は、34・5%で全国27位である。守らないと歩行者妨害となり、罰則が科せられる。警察

A

県内では、依然として、交通事故死亡事故が多発している。特に、幸手警察署から伺っており、幸手警察署から伺っており、特に、車両運転者の交通安全意識の低下は重く受け止めて

では、信号機のない横断歩道における、歩行者優先等を徹底するため、取り締まりの強化と広報啓発活動を推進している。信号機のない横断歩道の、歩行者の安全対策について市の考えを伺う。

いる。

市としては、今後も、幸手警察署と連携を密にし、四季の交通安全運動の街頭広報活動を通して、車両運転者に対して、「信号機のない横断歩道における歩行者優先」の徹底、さらに、「お互いを思いやる「思いやり運転」に努めていただくなど、広く周知していく。

(市民生活部長)

自主防災組織の有無による違いと対策は



本田謡子議員

Q 関東大震災から100年を経過し、未だ自主防災組織率63%の現在、組織が有る無しにより、歴然と見え

てくるその差は何か。いつ起こるか分からない災害に、市として見過ごすのか。その「差」についての市としてのサポートや今後の取り組みについて伺う。

A 自主防災組織がある地域の助成を市から受けられるが、

組織が無い地域は受けられないという差がある。自主防災組織の設立については、各々の事情があり設立まで至っていない地域があると認識している。

ついては、市として、どの地域も取りこぼしはできないので、区長会議内で設立のお願いや理解を示した区長の地域へ職員が訪問し、地域の皆様に説明を行

うサポートを引き続き行っていく。

(市民生活部長)



公共交通計画策定に市民が意見を言える場を



小泉圭司議員

Q 公共交通計画の策定は現在の公共交通会議のメンバーで行うのか、一般市民も公募していただけないのか。

アンケートやパブリックコメントで意見を募集するという話だが、今までもアンケート結果等で公共交通の評判が悪いまま、改善の手を打たれて来なかった。是非とも一般公募を行って市民

A 現在、策定を進めている地域公共交通計画では、無作為抽出による市民2000人にアンケートを実施するほか、

市内循環バス利用者や、運転免許証返納者の方へのアンケートも実施しており、公共交通に関する御意見の収集に努めている。

公共交通会議委員の一般公募について、現状予定はないが、

今後の公共交通の具体的な運行方法の検討の際には、公共交通会議とは別に公募委員を募集するなど、市民の皆様の声を広く聴く場を検討していく。

(市民生活部長)



議会の組織図

市議会

本議会

- 市長や議員が提出した議案などについて、質疑、討論、採決など議会としての最終意志の決定を行います。
- 市政全般について、市長や執行機関の考えを問いただします。

委員会

- 議会に提出された議案などを、少人数の議員で専門的・能率的に審査するために設置される議会の内部機関。

議会運営委員会

- 議会を円滑に運営するため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る場として設置される委員会です。

常任委員会

- 提出された議案などをより詳しく効率的に審査するために常設される委員会です。総務常任委員会・文教厚生常任委員会・建設経済常任委員会の3つの委員会があります。幸手市議会では議員は2つの常任委員会に所属しています。

特別委員会

- 特定の事項について詳しく審査する必要があるときは議会の議決により付議された事件を審査します。

議員活動 研修に参加しました

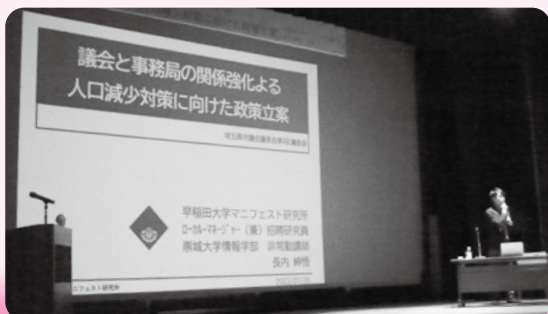
埼玉県市議会議長会 第4区議長会議員研修会

日にち 7月25日(火)

会場 幸手市北公民館

講師 早稲田大学マニフェスト研究所
ローカル・マネージャー 兼 招聘研究員
長内 紳悟氏

演題 議会と議会事務局の関係強化による
人口減少対策に向けた政策立案



四本奈緒美議員

ドライブレコーダーを活用した見守り活動を

Q

市の公用車や市が協力を依頼する事業者の保有する車輛に搭載されたドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として、児童生徒の見守りや、警察の捜査に活用することで、まちの見守り体制を充実させ、安心して暮らせるまちづくりに取り組むことが出来るかと考える。

A

市としても、ドライブレコーダーを活用した「動く防犯カメラ」は、児童生徒の見守りや犯罪抑止に対して、非常に有効であると考えます。他市と異なり、当市はタクシ

幸手警察署と協定を締結し、ドライブレコーダーを活用した地域全体で犯罪抑止力を強化した見守り活動を推進していくべきと考えますが、本市の見解を伺う。

1 事業者が2社のみであるため、実施に向け、どのような事業者にご協力をいただけるか、現在調査している状況である。多くの方にご協力をいただくとともに、確実に実施できるように検討していく。

(市民生活部長)

